

日時	2014年 5月25日(日)		
山名	油山・・・福岡県連主催ハイキング・ステップ講座2		
CL	講師:大塚	参加者	福田、藤原、吉永、秋山、白河(会員外) 林、坂口、三ノ宮、熊谷、吉田 ( 10 )名
HP記載の有無: 有			
(コース)	<p>机上学習 : 9時半～12時 油山管理事務所2F 実 技 : 13時～16時 油山市民の森</p> <p>☆ テキスト「ハイキングA・B・C 安全に楽しく山を歩くために」 日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会 編集</p>		
(コメント)	<p>机上学習</p> <p>1. 地形図の読み方、地形図のイメージ・コンパスの使い方</p> <p>まず最初に頭の体操から。 平面に描かれた「真上」「正面」の形から「全体の形」を想像することができるか？ 小学校の入試問題のようだな～と思ったが以外と難しい。頭が固い！ 地図を読むということは、等高線で平面に描かれたものを、いかに立体的に想像することができるか？ ということ。なるほど、勉強してみよう！と思った。 たくさん描かれている等高線から、尾根・谷・山頂などが読み取れる。 緩やかな斜面なのか急な斜面なのかも分かったりする。なかなか楽しい♪ (あべつ先生も、一生懸命「楽しいでしょ？」と言っていたかもしれない) コンパスについて基本的なことを学習するが、道具は「習うより慣れろ」 「それでは、午後から地図とコンパスを使って実際に山を歩いてみましょう！」 ・・・と大塚先生も楽しそうにおっしゃっていた。</p> <p>2. 目的地、現在位置</p> <p>そもそも 道に迷ってから地図を取り出しても、現在地はなかなかわからない。 今まで山で道に迷って痛い目にあったことがないので、地図とコンパスの 必要性を痛感したことがないのかもしれない。 山に入る前から 登山口・ルート・目的地を地図で確認し、歩きながらいつも 地図で現在地を確認することは、自分の身を自分で守ることにつながる。 今後もしっかりと勉強しなくてはと思う。</p> <p>実 技</p> <p>3. オリエンテーリングの実践</p> <p>地図とコンパスの勉強を楽しくできる「オリエンテーリング」 実際やってみると、地図の上下を逆にしたり、川の青い線を磁北線と間違っ て合わせたり、先生も思わず苦笑い・・・ みなさま 楽しいお勉強の時間をありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(記 吉田)</p>		
(感想)	<p>アゼリアからの参加者が9名で、なんだかいつもの会の山行かと勘違いしそうな雰囲気 始まりました。講師の大塚さんのとても分かり易く、楽しい講義のあと昼食を頂き、 午後からはチームを3つに分けて各2コースのオリエンテーリングがありました。</p>		

初めてのコンパスでしたが、ポイント毎に確認をしたお陰で少し慣れることができました。今後の山行では、コンパスでの確認はもちろんのこと、時間と距離の感覚を意識することが大切だと学びました。近場の油山ですが、コースも多くとても豊かな自然を感じることができ、個人的にもまた行きたいと思いました。 (記 熊谷)

**費用概算**

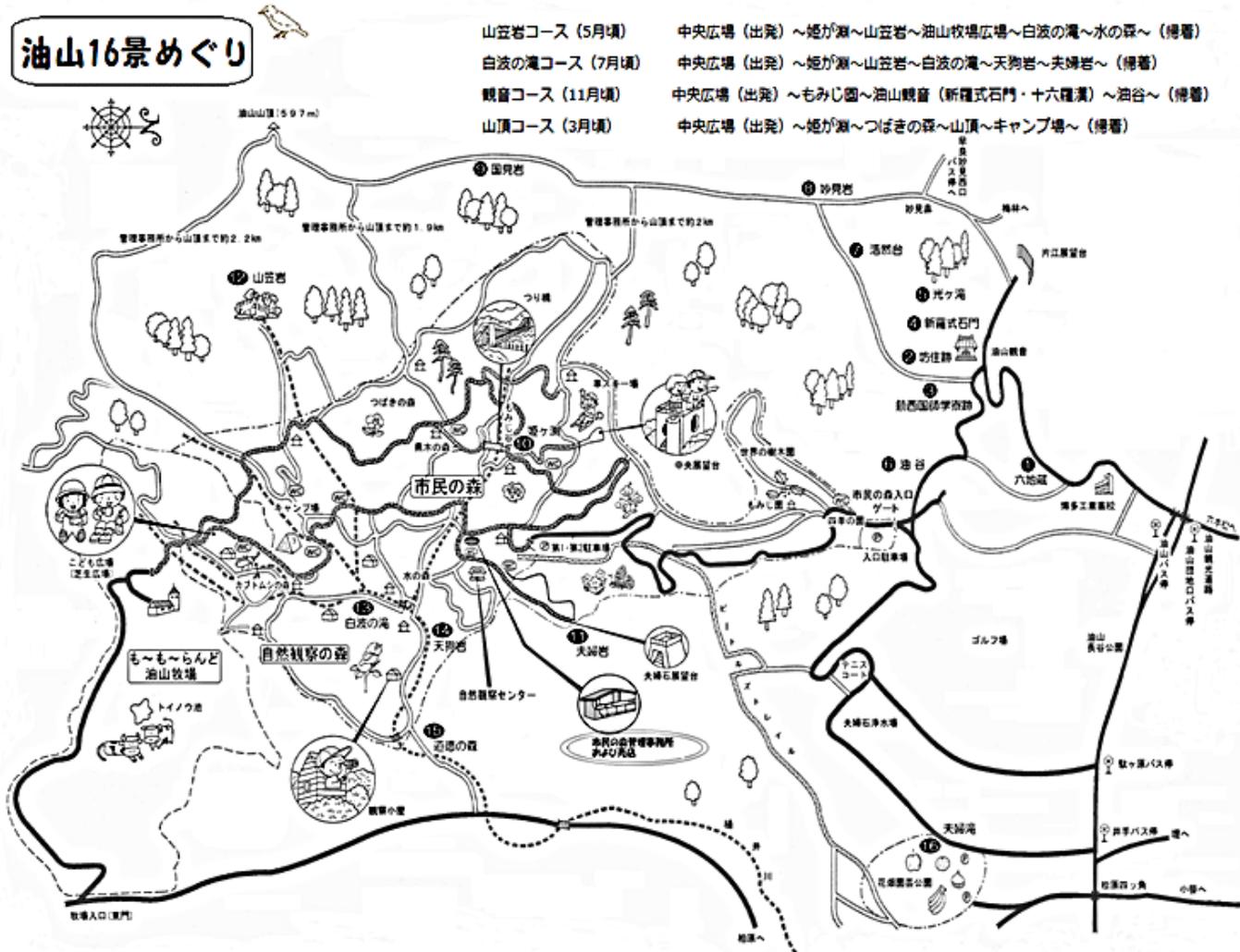
(交通費) 油山駐車場 300円

(その他) 我が会のキャッチフレーズ「油山からヒマラヤまで！」の油山。

どんなコースがあるのかホームページを見てみました。

油山十六景めぐり という見どころがあるようです。下記の地図をご覧ください。

**油山16景めぐり**



福岡市市民の森協会主催で「油山十六景めぐり」を年4回実施しています。